

平成18年度環境科学センター研究推進委員会指摘事項への対応

課題名 丹沢ブナ林の保全対策に関する研究

主な指摘事項	環境科学センターの対応
<p>○本研究は、オゾンのモニタリングを中心としたブナ林衰退気候の解明と、物理・科学資材によるブナ苗の保護対策の2つが柱になっていると理解しましたが、題目に「保全対策」を謳うのであればブナ林衰退の主要因のひとつになっているオゾンの負荷や濃度を低減させる方策も含めて検討することはできないでしょうか。少なくとも、なぜ山頂付近でオゾン濃度が高くなってしまったかについての要因分析は必要ではないかと考えます。</p> <p>○問題解決のための研究で、具体的な対策まで結びつくプロジェクトと考える。ただ水環境保全をうたっているなかで、丹沢のブナ林だけを対象とすることで十分なのか、プロジェクト研究としての対象範囲が狭いという印象を受けた。</p> <p>○ブナ林衰退に、どの要因が、どの程度影響しているかの把握は、さまざま対策をとることによって、各要因をコントロールし、対策効果の大小から、要因の寄与の大小を推定するという方法の採用も考えるべきと思う。</p> <p>○県民の関心の高いテーマだが、ブナ林衰退のメカニズム解明には、かなり時間がかかるのではないか？ 地域の特性なども大きく影響するとは思いますが、他の自治体などとの連携をしながら、適宜情報を公開して成果の見える研究にしていきたい。</p>	<p>○オゾンの低減対策に関しては行政部門（大気水質課）が中心になり連携をとりつつ対策を検討しております。 オゾンの山頂付近での挙動については、今回のプロジェクトで実施する計画です。</p> <p>○今回のプロジェクトは水環境保全も含んだ丹沢大山保全計画としての全体計画のうち「ブナ衰退」の分野についてのプロジェクトであり、全体計画と密接な連携のもとに実施する計画です。</p> <p>○ブナ衰退の機構を把握するために各要因の寄与、役割について評価する手法についても検討する計画です。</p> <p>○メカニズムの解明にはご指摘のとおり時間もかかるかと思いますが、ともかく一歩からでも始めなければならないと考えます。</p>

## 平成18年度環境科学センター研究推進委員会指摘事項への対応

### 課題名 丹沢ブナ林の保全対策に関する研究

○ブナ林の衰退の原因は非常に複雑なようで、オゾンの影響を判定するのはなかなか難しいことだと思われます。しかし、ブナ林の衰退は、県民の関心も高いと思われるので、原因の解明が進むことが期待されます。健康と思われるブナ林でのオゾン濃度との対比も有効なのではないかと思われます。

○樹林の衰退は、種々の要因が複合していることは神奈川県のもこれまでの明らかになっていると思われる。その重点の一つにオゾンを設定することは首肯できるが、複眼的考察が不可欠と思われる。

○健全なブナでの状況についても、ご指摘のとおり衰退の対照として調査していきたいと考えております。

○オゾンとその他の水ストレス、害虫ストレスがどのように枯損に結びつくのか他の共同研究機関との連携によって、ご指摘の複眼的考察手法を取り入れて進めていきたいと考えております。